



2年 国語 研究授業 ～読み取ったことをもとに感想を書こう！～

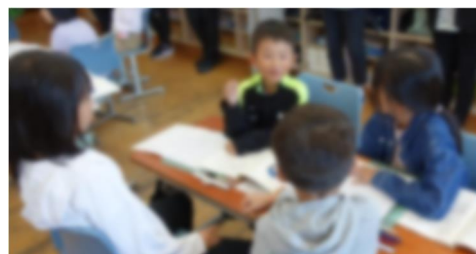
22日(月)、指導主事(南教育事務所雄勝出張所)をお迎えして、今年度は初めてとなる教科の指導主事計画訪問(授業研究会)があり、2年生が国語の授業をしました。

授業者は、K先生です。先生は今年度、秋田県の中堅教諭等資質向上研修に該当していて、年間を通して教科指導はもちろん学級経営や生徒指導、教育相談など様々な研修を行っています。夏休みには、社会体験研修として教職以外の仕事(今回は生保内の喫茶店での研修)も行いました。

当日の授業のねらいは、説明文を読み取り、読み取ったことを自分の体験と結び付けて感想をもつことでした。説明文は獣医の仕事に関わる内容で、前の時間までの学びを生かして獣医の仕事を読み取り、獣医の仕事である「日記を書くこと」と「お風呂に入ること」について、自分の体験と比べたり結び付けたりしながら感想をまとめました。2年生にとっては難しい課題でしたが、ペアやグループでの話し合いや、先生の個別のアドバイスをもとに、一生懸命にがんばる姿が見られ、頼もしかったです。子どもたちの読み取りや視点をもとに感想をもつ力が伸びてきていることを感じられました。

さて、本校で普段の授業において目指している子どもの姿を端的に言うと、「基礎基本をしっかり身に付けている」「自分の思いや考えを出し合ってよりよいものにしようとしている」「振り返りを次につなげていく」という3点になります。また、授業を通して、よりより学級づくりや共感的人間関係の育成にも力を入れています。

指導主事の先生からは、「元気な子どもたち、みんな国語が好きで、意欲的に、そして安心して学習に向かっていた」「自己存在感の感受がすばらしく、普段の授業からのよい人間関係ができていことがわかる」などを褒めていただきました。また、全学年に共通した、今後の国語の授業づくりのポイントなども助言していただきました。今後も研修を深めながら、授業改善に取り組んでいきたいと思います。



秋の交通安全週間 ～タイムマシーンでもないかぎり 起こした事故はなくなる～

上記は、警視庁が呼びかけているフレーズです。秋の交通安全運動(9月21日～30日)に合わせ、本校でも今日から3日間、朝の街頭指導を始めました。各学年でも、一列での歩行や正しい道路の横断など交通安全のためのルールを徹底を図りながら「大切な命を守る意識の向上」を目指して指導します。交通安全とは違いますが、連日ニュースで報道されている「熊が人を襲う」というのも心配ですね。

全国的には、反射材の活用や自転車でのヘルメット着用を呼びかけています。保護者の皆さんなど私たちドライバーに対しては、ながらスマホや夕暮れ以降の早めのライト点灯、飲酒運転の根絶などが重点になっています。

事故を起こしたい人、事故に遭いたい人はだれもいません。しかし起こしてしまった事故はなくなるのも事実です。歩行者も、自動車・自転車に乗る人も、交通ルールを守って事故ゼロを目指しましょう。

